

略歴書

大谷 章仁 (おおたに あきひと)

株式会社 IHI 原子力セクター 配管設計部 主幹、工学博士



【専攻分野】 機械工学

【本会活動】

理事 (会計担当) : 2011 年 6 月～2013 年 5 月
システム性能を考慮した産業施設諸機能の耐震性評価
研究委員会委員
: 2011 年 2 月～2013 年 3 月

【略歴】

1987 年 徳島大学工学部機械工学科 卒業
1989 年 徳島大学大学院工学研究院 修了
1989 年 石川島播磨重工業株式会社 入社
2002 年 石川島播磨重工業株式会社 エネルギーシステム事業部
原子力プロジェクト部 課長
2004 年 横浜国立大学大学院 工学研究院 生産工学専攻 博士課程修了
2008 年 株式会社 IHI 原子力事業部 原子力プラント技術部 主幹
現在 株式会社 IHI 原子力セクター 配管設計部 主幹

【委員会活動(直近 5 年間)】

- ・ 日本機械学会 規格委員会 原子力専門委員会 耐震許容応力検討タスクフェーズ 2 幹事 (2014 年 4 月～現在)
- ・ 日本機械学会 規格委員会 原子力専門委員会 設計・建設分科会 支持構造物作業会委員 (1999 年 4 月～2005 年 3 月)、同作業会主査 (2005 年 4 月～現在)
- ・ 日本機械学会 技術と社会部門 第 93 期運営委員会 (2015 年 4 月～2016 年 3 月)

【著書および主要論文(代表的なもの 10 編以内)】

- ・ A. Otani, K. Nagashima, J. Suzuki, 2002, Vertical seismic response of overhead crane, Nuclear Engineering and Design, Vol.212, pp.211-220.
- ・ 大谷 章仁, 中村 いずみ, 高田 一、「配管系の簡易弾塑性応答解析手法」, 日本機械学会論文集 C 編, 70 巻, No.694, pp1622-1628

【所信】

3年前、日本地震工学会は、一般社団法人から公益社団法人へ変わりました。当時、公益社団法人になるとどんなメリットがあるのか議論になりました。理由として二つが挙げられました。一つは、公益社団法人という格、もう一つは、日本地震工学会へ寄付した方々に税の優遇措置が認められるということでありました。

日本地震工学会は、地震に関連する様々な分野の方々が集い、分野を横断する研究、総合的な研究の成果を発信できる場であり、公益社団法人という格が自然にあてはまる学会だと思います。

私は、企業の中で機械系の耐震・免震分野の研究に関わってきました。日本地震工学会の中では、機械系の会員が少ないのですが、その分、様々な分野の方々と交流でき、勉強する機会を得てきました。地震工学に関する研究者の一人として、会員であることにより、メリットのある学会だと実感しています。

公益社団法人への移行の際には、会計理事として、関係申請書類等を作成する任に着き、貴重な体験をしました。様々な分野を横断する研究の発信基地、公益社団法人 日本地震工学会の運営、発展に、お役に立てるよう尽力する所存です。

以 上